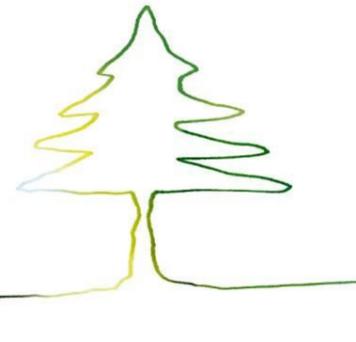


# 北章宅建グループ

## サステナビリティ経営への取り組み



北章宅建グループ様が設定した目標・KPIは概ね順調に進捗しています。

環境面においては、自社保有の賃貸物件に対する断熱化リフォームの実施や、紙の使用量削減をすすめており、引き続き設定した目標の達成に向けた取り組みを進めていくとヒアリングしています。

社会面においては、社内のシステム化をすすめて、DX推進がワーク・ライフ・バランス向上などの働きやすい職場環境の整備につながっています。また、上記の取り組みは業務の属人化の解消となり、年齢や性別等に関係なく働ける職場の形成につながっており、2025年度よりダイバーシティを推進するための目標を設定し、地域での雇用創出に貢献していくこととしています。

経済面では、空き家の流通を促進し、社会課題の解決に取り組んでいます。2025年度には留萌市への新規出店を行い、過疎地域での不動産流通の促進をすすめる計画となっており、今後もさらなるポジティブインパクトの創出が期待されます。

株式会社北洋銀行

### SDGs達成とインパクトへの取り組み

#### 環境

- 2024年度は、既存賃貸物件の断熱補強を継続して、省エネ物件供給への取り組みを進めました。今後も、リフォーム時の断熱強化を実施し、断熱補強率を向上させていきます。
- 2024年度は、販売在庫数を増加させつつ、DX化により紙使用量の削減を実施しました。今後も、2030年の目標に向け、環境への取り組みを推進していきます。



#### 【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
環境経営の実践	自社保有賃貸物件に対する断熱化リフォームの実施	【2024年度実績】 断熱強化件数：5件 (退去件数25件)	自社保有賃貸物件において、今後退去された物件の全てに断熱化リフォームを実施する
	紙の使用量の削減	【2024年度実績】 紙使用量削減率：6.7%	2030年12月期までに物件在庫件数1件あたりの紙の使用枚数を20%以上削減する(2023年12月期対比)

#### 社会・地域

- 2024年度は、労働環境改善の一環として、紙の承認フローの電子承認化など、社内業務のシステム化率を引き上げました。これらのDX化により、残業時間ゼロを継続することができ、従業員のワーク・ライフ・バランス向上につながりました。今後も、業務の見直しを図り、システム化率を向上させていきます。
- また、システム化により属人的となっていた業務の汎用性が高まり、性別や年齢を問わず働きやすい環境整備につながりました。地域での雇用創出にむけ、今後も職場環境の改善に努めてまいります。



#### 【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
DX推進による働きやすい職場づくり	従業員と共に自社システムの活用を促進することによる、自社独自の顧客アプローチと業務フローの構築及び業務効率化の推進	【2024年度実績】 システム化率 63.3% (2023年度：56.7%)	2030年12月期までに不動産の流通業務に関する自社システムの介在比率を95%にする
		【2024年度実績】 残業時間 0時間 (2023年度：0時間)	従業員の月残業時間ゼロを維持する
		【2024年度実績】 女性及び高齢者の割合 59.4%	2030年12月期までに就業者に占める女性および高齢者の割合を70%にする

#### 経済・ガバナンス

- 2024年度から、地域の空き家課題解決の一環として現地調査を開始し、累計で約2,000件の空き家を実査しました。上記の空き家について、流通促進に向けた取り組みを行っています。今後も、空き家に対して販売打診を行い、空き家流通の取り組みを継続しています。
- 2025年度は、留萌市への新規出店を計画しています。今後も過疎地域への出店を継続し、不動産流通の促進を図っていきます。



#### 【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
空き家増加・人口減少対策への貢献	空き家物件の流通促進	【2024年度実績】 成約件数：736件 (2023年度：695件)	2030年12月期までに空き家物件の成約件数を年1,000件以上とする
	人口減少が進む地方圏への新規出店を通じた地域経済の活性化	【2024年度実績】 出店：0店舗 (2023年度：11店舗)	2030年12月期までに過疎地指定市町村へ9店舗以上新規出店する

